

***Together, to “The Next”
for sustainable growth***

KOMATSU

コマツ

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6
<https://www.komatsu.jp/ja>
サステナビリティ推進本部
コーポレートコミュニケーション部
e-mail : JP00MB_info@global.komatsu

Komatsu Report

2022

コマツレポート 2022

DANTOTSU Value

Together, to “**The Next**” for sustainable growth

未来の現場に向けた**次のステージ**へ

サステナブルな未来を**次の世代**へ

次の100年に向けて新たな価値創造を



見通しに関する注記事項

当レポートに記載されている将来の業績に関する予想、計画、見直しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績はさまざまな要因の変化により、記載の予想、計画、見直しとは大きく異なることがありますことをご承知ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行の変更などが含まれます。

報告対象期間 2021年4月1日～2022年3月31日

- 最新の状況をご報告するため、報告対象期間以降の活動内容も記載しています。
- 当レポートに記載している「2021年度」および「2022年3月期」は、特に記載のない限り、2021年4月1日から2022年3月31日までの期間を示しています。

編集方針

当レポートは、コマツの中長期的な事業戦略と、事業を通じたESG課題解決の好循環を、ステークホルダーの皆さまにわかりやすくお伝えすることを目的に発行しています。編集にあたっては、IFRS財団による「国際統合報告フレームワーク」と、経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を参照しています。



Contents

Introduction

- 2 私たちのアイデンティティー
- 4 サステナビリティ基本方針

01 コマツの概要と強みを知る

- 8 一目でわかるコマツ
- 10 コマツ101年の歩み
- 11 事業概況
- 12 価値創造プロセス
- 14 特集 コマツの強み
 - ―ライフサイクルサポートビジネス
 - ―サプライチェーンリスクを最小限に抑えるレジリエントな生産・調達体制

02 中期経営計画

- 20 社長メッセージ
- 26 特集 中期経営計画(2022年度～2024年度)
- 36 サステナビリティ基本方針と中期経営計画のKPI
- 38 CFOメッセージ
- 44 前中期経営計画「成長戦略によるESGの課題解決」
 - ―CSR重点分野と中期経営計画のKPI

03 成長戦略によるESGの課題解決

- 48 地球と共に
 - ―気候変動への取り組み(TCFD提言に基づく情報開示)
 - ―マイニング事業本部長メッセージ
 - ―パートナーメッセージ(RioTinto)
- 56 人と共に
 - ―人材育成の取り組み
 - ―特集 グローバル人材育成
- 60 社会と共に
 - ―社会貢献活動

04 コーポレート・ガバナンス

- 64 社外取締役メッセージ
- 66 コーポレート・ガバナンス
- 74 コマツのリスクマネジメント
- 78 役員一覧

05 Corporate profile

- 84 11年サマリー
- 86 非財務ハイライト
- 87 外部の評価
- 88 会社情報
- 89 コマツレポートについて

私たちのアイデンティティー

コマツは、創立100周年を機に、新たにミッション(事業の目的)とビジョン(目指す未来像)を「存在意義」として、堅持する姿勢を「価値観」として明文化しました。

また、お客さまを含むすべてのステークホルダーとの約束として「ブランドプロミス」を定義しました。

事業のグローバル化が進み、ステークホルダーの皆さまや社員の多様化が進むなかで、コマツブランドが大事にするもの、これからの方向性を明示することで、グローバルで一貫性のある企業活動を展開していきます。

私たちの存在意義

ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、
人、社会、地球が共に栄える未来を切り拓く

私たちの価値観

挑戦する

高い志を持ち、
失敗を恐れることなく、
革新のために
挑戦し続ける

やり抜く

困難にあっても
決して諦めず、
責任を持って最後まで
やり遂げる

共に創る

多様な価値観や
個性を認め合い、
互いに敬意を持ち、
win-win精神で
協働することで
新たな価値を創出する

誠実に取り組む

常に誠実に
正しく行動し、
信頼される存在で
あり続ける

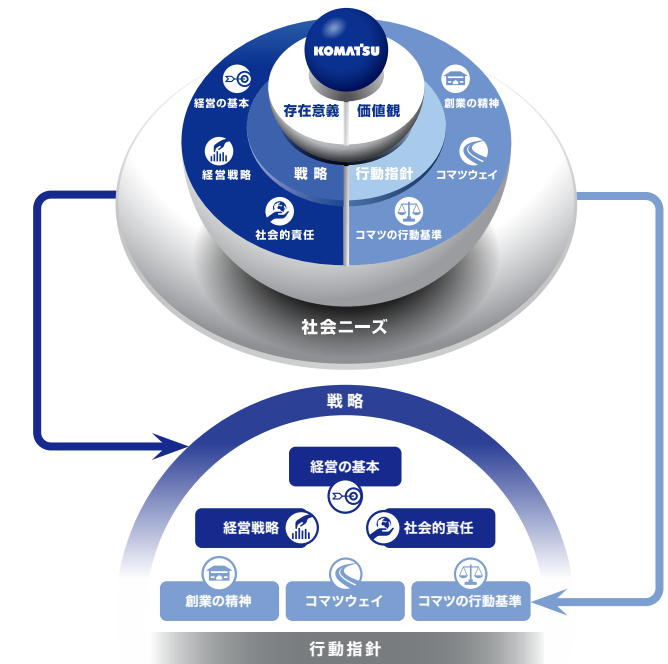
ブランドプロミス

Creating value together

お客さまと共に持続可能な社会のために新たな価値を創りだします。
パートナーシップを大切にするコマツの想いをtogetherのデザインに込めています。

私たちのアイデンティティー

存在意義や価値観のもと、創業の精神やコマツウェイ、行動基準など当社の発展とともに作られてきた行動指針や中期経営計画などの戦略をコーポレートアイデンティティーとして体系化しました。存在意義を実現するための基本となる考え方が「経営の基本」であり、実行するための戦略が中期経営計画と位置づけています。



経営の基本

「品質と信頼性」を追求し、社会を含むすべての
ステークホルダーからの信頼度の総和を最大化する

経営の基本はコマツが経営を遂行する際の基本的な姿勢を示します。



経営戦略

コマツは中期経営計画(2022-2024年度)「DANTOTSU Value-Together, to “The Next” for sustainable growth」を推進しています。顧客価値創造を通じたESG課題の解決と収益向上の好循環の実現に取り組んでいます。



社会的責任

コマツの社会的責任は、「事業活動を通じて社会の要請に応えていく活動」を行いつづけることです。



創業の精神

コマツの創業者である竹内明太郎(1860年～1928年)は、創業の精神として「海外への雄飛」、「品質第一」、「技術革新」、「人材の育成」を掲げました。この精神は現在もコマツのDNAとして、私たちに受け継がれています。



コマツウェイ

私たちの価値観を行動様式で表現したのが「コマツウェイ」です。創業者の精神をベースに、先人たちが築き上げてきたコマツの強さ、強さを支える信念、基本的な心構えと持つべき視点を定めたものです。



コマツの行動基準

「品質と信頼性」を追求しつづけるコマツグループの社員として、世界のどこにおいても守るべきビジネス社会のルールを示したものです。

サステナビリティ基本方針

当社は、ESGを重視した経営を行うことを宣言し、安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供など、事業活動を通じたESG課題解決を目指してまいりました。

気候変動やさまざまな社会からの要請に対して誠実に対応する姿勢を明示し、更なるサステナビリティ経営の推進を目指すため、サステナビリティ基本方針を策定しました。

サステナビリティ基本方針

私たちは、これまで「品質と信頼性」を追求し、社会を含むすべてのステークホルダーからの信頼度の総和を最大化することを「経営の基本」とし、ステークホルダーとの強い信頼関係を築く努力を重ねてまいりました。

地域社会との共生を目指す精神は創立時から脈々と受け継がれており、事業活動を通じた社会貢献が当社の基本的な姿勢です。私たちの存在意義は「ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、人、社会、地球が共に栄える未来を切り拓く」ことです。私たちは、これからも、持続可能な社会の実現と事業の成長のために、重要な課題に取り組み、社会や外部環境の変化に柔軟に対応できる企業グループとして、コーポレートガバナンスの一層の充実を図り、ステークホルダーと共に社会に貢献してまいります。

人、社会、地球と共に栄える未来を切り拓くために、私たちが行うこと

人と共に

- 多様でグローバルな人材が、個を尊重しつつ、一つのチームとして、やりがいと誇りを持って、安全・健康に働くことができる環境を提供します。
- さまざまな現場や地域の課題解決のために挑戦を続け、新たな価値をお客さまと共に創り、社会に貢献できる人材を育成します。
- コマツグループとして、すべての事業活動に関連する人権を尊重します。

社会と共に

- 持続可能なインフラ整備と資源開発および循環型社会を実現する安全で生産性の高い商品・サービス・ソリューションをお客さまに提供し、事業活動を通じて社会に貢献します。
- 取引先や地域社会と相互に信頼しあい、公正かつ共存共栄を可能とする関係を築きます。
- 法令をはじめとした社会のルールを遵守すると共に、社会を含むすべてのステークホルダーからの要請や期待に誠実に応えるよう努めます。

地球と共に

- あらゆる事業活動を通じて、先進の技術を駆使して環境負荷を低減し、地球環境の保全に努めます。
- ものづくりと技術の革新で、地球環境の保全と事業の成長の両立を図ります。
- ステークホルダーとの協働・共創を推進し、より良い地球と未来の実現を目指します。

株式会社小松製作所
代表取締役社長(兼)CEO

小川 啓之

存在意義を実現する戦略の考え方

当社は、サステナビリティ基本方針を、存在意義を実現するための戦略の一つとして位置づけています。今後も、本方針に掲げたとおり、持続可能な社会の実現と事業の成長のために重要な課題に取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。

